

## ふるさと創生基金事業について

### 1 趣旨

ふるさと創生基金事業は、合併特例債等の活用により地域振興を図る事業や市の一体感を醸成する事業を行うものです。

それにより、市民と行政が協働し、連携して事業を実施し、その中で行政主体から地域住民主体への転換を図り、市民活動や地域活動を地域住民自ら考え、具体化し、実践していきます。

### 2 対象事業

- (1) 各支所が行う地域単位の地域振興のために、企画する新規のソフト事業。
- (2) 以前より行われている地域イベント等の拡充事業。

#### ※ 対象となる事業（例）

地域の行事の展開
伝統文化の伝承等に関する事業の実施
民間団体への助成
コミュニティ活動・自治会活動への助成
商店街活性化対策

- ※ 原則として、単年度事業です。なお、継続事業の場合、継続の必要性などについて地域振興戦略部と協議することになります。
- ※ 建物や構造物の建設、備品購入については、対象外となります。ただし、材料等を購入して、地域住民の直営による遊歩道や看板作成などについては、認めています。

### 3 事業の検討方法

次のどちらかの方法で行います。三島地域では、次の(1)の方法を採用しています。

#### (1) 実行委員会方式

支所に設置した、ふるさと創生事業実行委員会で事業を企画・立案し、地域委員会の審査を経て決定します。

#### (2) 地域委員会方式

地域委員会の地域振興事業についての意見を参考に、ふるさと創生事業実行委員会で事業を企画・立案し、地域委員会の審査を経て決定します。

### 4 過去の実施事業

次のとおりです。

# 平成 21 年度三島地域ふるさと創生基金事業 事業計画書

## ■事業名

第 25 回記念みしま西山連峰登山マラソン大会(拡充事業)

## ■予算額

1, 215, 000 円

## ■事業の目的

今大会は、新潟県中越沖地震の被害により走行不可能となっていた登山コースが復活する。第 25 回大会を記念して、千葉真子さん（世界陸上銅メダリスト）を招致することで大会の盛り上げを図る。

また、これとともに 10 月に開催されるトキめき新潟国体の会場となる三島地域を P R し、第 25 回記念大会と新潟国体両方の盛り上げを図る。

## ■事業の実施による効果

- (1) ゲストランナーを招待することで、地域の青少年を中心とした出場者の増員が見込まれるとともに、地域住民から沿道で声援を送ってもらうことにより、大会を一層盛り上げる。
- (2) ゲストランナーによる講演会を行い、諦めないこと、努力すること、夢をもつことなどを話してもらうことで、来場者に夢を持つことのすばらしさを感じてもらう。
- (3) 三島の特産品を来場者に展示・販売することで、三島物産の P R につなげる。
- (4) 市内の太鼓団体や地域の保育園、三島中学校の吹奏楽部、よさこいグループを招待して、国体や地域をアピールする機会ができる。

## ■事業の内容

- (1) 西山連峰登山マラソン大会へのゲストランナーの招待・講演会 【実施時期：5月17日(日)】
  - 子どもからお年寄りまで、年代を問わずに来場者が千葉真子さんと一緒に走り、地域の人が応援、交流する。
  - スタート時やランナーのゴールを待つ間に演奏などを披露する。
  - マラソン大会終了後、千葉真子さんによる講演会を開催する。
- (2) 三島の特産品の展示・販売 【実施時期：5月17日(日)】
  - 出場者・来場者に三島の特産品の展示・販売をする。
- (3) 大会前クリーン作戦の実施 【実施時期：5月9日(土)】
  - 地域住民と学校に協力を依頼し、大会前にコースのごみ拾いや枝葉の掃除をする。
  - コース以外の場所は、地域資源再発見プロジェクトの町内一斉おもてなしクリーン作戦で取り組みをする。

# 平成 21 年度三島地域ふるさと創生基金事業 事業計画書

■事業名 地域資源再発見プロジェクト

■予算額 885,000 円

## ■事業の目的

住民から環境美化に関心を持ってもらうために、地域内のごみ拾いや花植えを実施し、国体やイベントで三島を訪れる人などから「三島はきれいなところ・花がいっぱいあるところ」と思ってもらえるようにする。

また、地域のイメージアップを図り、訪問者へのおもてなしの環境を整えることにより、地域資源の再発見や地域の安全を見直すきっかけとする。

## ■事業の実施による効果

- (1) ごみ拾いなどの環境美化活動を通して住民がごみ問題に関心を持ち、環境美化を推進する。
- (2) 地域内外からのイベント参加者に三島の美しさ、花のある素敵な環境を見てもらうことで、三島のイメージアップを図る。
- (3) 町内会が地域の安全点検に取り組むことで、住民同士のつながりや高齢者の交通安全意識を高める。
- (4) 三島の史跡や地域資源を学習、発信し、観光面への波及効果を高める。
- (5) 和太鼓の人材を育成し、地域イベントを盛り上げるとともに、地域内外の交流を通して地域の活性化を図る。

## ■事業の内容

- (1) 町内おもてなしクリーン作戦 【実施時期：5月9日（土）・9月20日（日）】
  - 国体にむけて町内のごみ拾いや枝葉の掃除を行う。5月の実施日は西山連峰登山マラソン大会前クリーン作戦と同日とし、地域内一斉に行う。
  - クリーン作戦にあわせて、防災（災害危険箇所）、防犯（暗がりなど不審者出没）、交通安全（カーブミラーの不良や見通しの悪い交差点）などについて、町内の安全点検を実施する。
- (2) 花いっぱい活動 【実施時期：6月下旬～】
  - 国体三島地域協力が実施するプランター設置及びコスモスロードの構築活動と連携して実施する。
  - 学校や地域住民にプランター及び花の苗を提供し、自宅や地域で育ててもらう。国体の開催時など会場周辺や自宅前の沿道などに設置してもらう。
  - 町内会や希望者に依頼し、みしま体育館周辺や他地域との境界付近の道路（三島新保と長岡、中永と出雲崎、瓜生と与板など）を中心に、道路わきや街路樹の下などに国体開催時期に開花している草花や多年草を植える。
  - みしま体育館脇の公園に、花（プランター）と長岡造形大学の学生の作品（彫刻、オブジェなど）を配置し、選手や来場者に見てもらう。
- (3) 地域ふれあい活動 【実施時期：6月中旬～】
  - ①鳥越里山自然観察ウォーキング
    - 里山の自然を楽しむウォーキングを開催する。
  - ②三島のいいところ学ぼう会
    - 三島地域の名所や歴史的財産、コミュニティ活動など、三島のアピールできるものについて学び合い、三島を紹介できるボランティアを育成する。
- (4) みしま和太鼓育成活動 【実施時期：6月中旬～】
  - 太鼓に興味のある人たちに呼びかけ、太鼓グループを育成し、三島地域のイベントを盛り上げる。

年 度 事業額	事 業 名	事 業 内 容
平成 17 年度 1,761,948 円	①みしま想像プロジェクト ～今を見つめ未来へ～	長岡地域を学び、これからの地域のあり方を考えるためのソフト事業を実施し、地域住民への啓発活動の場として、講演会（学習会）等を開催する。
	②みしま民話プロジェクト ～未来人に託す昔人の知恵～	三島地域に古くから伝わる民話を後世に残すべく、よりわかりやすく民話を伝承するため紙芝居や劇にして残すことを目的とする。
平成 18 年度 2,236,544 円	①みしま民話プロジェクト ～世代を越えて未来へつなぐふるさとの昔話～	三島地域に古くから伝わる民話や伝説等を劇や紙芝居、絵本などにして、よりわかりやすい形で後世に残し、伝承する。
	②よさこいソーランみしまプロジェクト ～次世代を担う子どもたちとともに～	三島音頭などをベースに「よさこいソーラン」の三島地域オリジナル曲と踊りを作成し、子どもや青年層などの大人を交えた一体感の醸成を図る。また、小・中・高校生などが踊りを発表できる機会を設ける。
平成 19 年度 2,326,102 円	①みしま民話プロジェクト ～創造・独創・未来へつなぐふるさとの昔話～	三島地域に古くから伝わる民話や伝説等を題材として、一般公募による紙芝居や絵本などのコンテストを実施し、独創性が高く、親しみやすい形の物語を募集する。
	②よさこいソーランみしまプロジェクト ～踊りの和でつなぐ地域交流の祭典～	よさこいソーランを核とする地域交流イベント「みしまよさこいフェスティバル」を開催する。また、三島地域のよさこいソーランのチームの育成を行い、その活動により地域の活性化と地域間交流につなげていく。
平成 20 年度 2,170,788 円	①地域資源再発見プロジェクト	三島上条地区の山林に約 140 年前に建てられた石碑「猿塚」「経塚」について、地域資源として再生させるため、地域住民等を主体に看板の製作を行うもの。なお、いずれの石碑についても、現在、地元住民やみしま観光推進協議会などにより保存活動が行われている。
	②みしま民話プロジェクト ～地域と未来に広げるふるさとの昔話～	平成 19 年度に実施した「みしま民話コンテスト」の入選作品について、製本等を行うとともにデジタルデータ化して長岡市ホームページに掲載し、多くの人から三島地域に伝わる民話に触れてもらえるようにする。